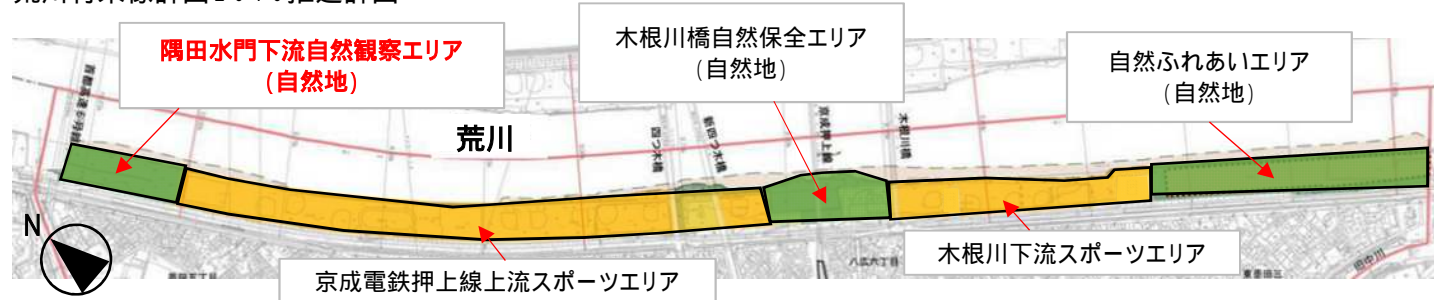


# 荒川自然生態園整備事業の中止について

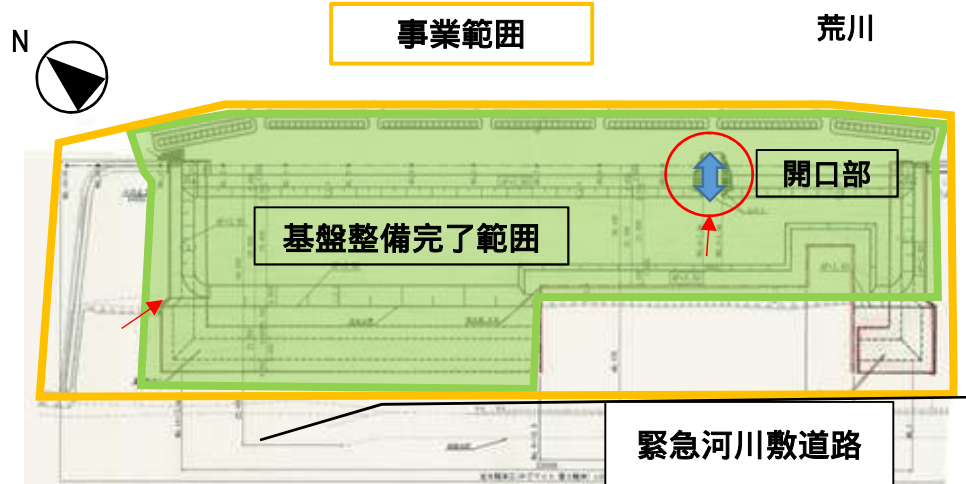
## 1 荒川将来像計画2010推進計画



## 2 経緯

- 平成6年度
- 荒川下流部の沿川2市7区長と荒川下流河川事務所長で構成される「荒川の将来を考える協議会」が発足
- 8年度
- 魅力的な川づくりの計画「荒川将来像計画全体構想書1996」策定  
現存するまとまったヨシ原、干潟などの自然地(計画図参照)は保全し、運動場などにはしない
  - 荒川をもっとよくなりたいと願う墨田区民の代表と行政関係者が集う会議として「荒川をよくする墨田区民会議」を設立し、自然地の整備イメージなどを検討  
荒川をよくする墨田区民会議は、平成9年1月から平成27年3月まで開催
- 13年度
- 木根川橋自然保全エリア整備開始
- 17年度
- 木根川橋自然保全エリア整備完了
- 22年度
- 「荒川将来像計画2010推進計画」策定
- 23年度
- 「荒川将来像計画2010推進計画地区別計画【墨田区】」策定  
隅田水門下流自然観察エリアの整備・維持管理方針を策定  
国: 基盤となる護岸を整備する  
区: 国の基盤整備後に整備し、維持管理する  
区基本計画(平成23~27年度)に荒川自然生態園整備事業を掲載  
区民: 区と協力し、維持管理する
- 国による基盤整備工事開始
- 24年度
- 国の基盤整備工事が中断

## 3 国による基盤整備の状況(隅田水門下流自然観察エリア:荒川自然生態園整備地)



## 4 令和元年台風第19号の影響

### (1) 台風通過後の増水状況



令和元年台風第19号により荒川沿川は大きな被害を受けた。墨田区では、隅田水門下流自然観察エリアに隣接する野球場、サッカー場等に大量の土砂が堆積し、復旧作業に約半年、約4億4千万円を費やした。

### (2) 国による河道掘削

国は、増水時の安全な流下とかつての多様性のある湿地環境の再生を目的として、荒川下流部の高水敷(河川敷)の掘削に着手することとなった(別紙参照)。

## 5 荒川将来像計画2010推進計画及び同地区別計画【墨田区】の見直し

計画策定から10年が経過したことから、現在、荒川下流河川事務所及び沿川2市7区で見直し作業を行っている。

### (1) 土地利用計画の修正(自然系ゾーンと利用系ゾーンの位置の入替え)

木根川橋下流の利用系ゾーン(野球場及びサッカー場)について、荒川下流河川事務所の高潮対策工事に伴い、高水敷が狭くなり、運動場数を確保した再設置ができないため、自然系ゾーン(自然ふれあいエリア)と利用系ゾーン(野球場及びサッカー場)の位置が入れ替わった(平成26年度~平成27年度)。

【入替え後の航空写真(令和元年撮影)】



計画では自然系ゾーンだったが、現在は利用系ゾーンとなっている。

### (2) 記載内容の更新(隅田水門下流自然観察エリアの整備・維持管理など)

## 6 荒川自然生態園整備事業の今後の取扱い

上記を総合的に勘案した結果、令和元年度に大きな被害をもたらした台風と同程度の台風は今後も予想されることから、本事業は中止とし、今後は、国において自然環境の保全・再生を目的とした整備とその後の維持管理を行う。  
なお、本事業の中止について、地元町会等に経緯を説明するとともに、区HPにおいて周知する。